

讃歌 (1972)

メディア 映画

ジャンル ロマン ス ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 112分

初公開日 1972/12/29

【解説】

谷崎潤一郎の名作『春琴抄』を新藤兼人が脚色・監督・製作した。他の『春琴抄』映画化作品とは一線を画し、春琴の家で働いていた女中へのインタビューという形で話が進む。インタビュアーは新藤兼人その人である。

菓種問屋の娘である春琴は九歳で失明するが、持って生まれた才能で琴と三味線の大家となった。美貌も兼ね備えた春琴はわがまま放題となり、身の回りの世話はすべて使用人の佐助にさせていた。佐助は献身的に仕え、やがて春琴が独立し看板を掲げると、女中てると一緒に移ることにする。春琴の美しさ目当てで弟子になった利太郎が寝室に侵入し、あやまって熱湯を彼女にかけてしまう。大やけどを負った春琴は佐助に顔を見せたくないと懇願、佐助は針で自分の目を突いて失明するのだった。

【クレジット】

監督 新藤兼人

製作 葛井欣士郎

赤司学文

新藤兼人

原作 谷崎潤一郎

「春琴抄」

脚本 新藤兼人

撮影 黒田清巳

美術 渡辺竹二郎

編集 近藤光雄

音楽 林光

出演 渡辺督子 鴎屋春琴

河原崎次郎 温井佐助

乙羽信子 嶋沢てる

武智鉄二 鴎屋安左衛門

初井言栄 妻しげ

殿山泰司 春松検校

原田大二郎 利太郎

戸浦六宏 番頭

草野大悟 医者

本山可久子 内儀

新藤兼人 作者